

6月議会で「えひめ教科書裁判を支える会」から「憲法92条の県民自治に基づく参政権の基礎をなす「知る権利」を保障する公文書の管理に関する条例を制定することを求めることについて」という請願が出されました。結果は、総務企画委員会で不採択、紹介議員として武井議員は最終日に反対討論を行いました。本会議でも不採択となりました。

私たちの「知る権利」を守る愛媛県公文書管理条例に改正しよう

全国で先駆けて公文書管理条例の制定を行っている市町村は、市民から情報公開請求をされても「公文書がない(作成していない)」という理由で非公開となることのないよう、市民の「知る権利」を守り「行政の説明責任」を果たすことを目的として条例を制定している。そのため、専門家の意見を仰ぎ、広くパブリックコメントを求め、時間をかけて丁寧なプロセスを踏んでいる。

「知る権利」は、憲法21条の「表現の自由」を根拠とする。主権者である国民が自由に意見を表明しあい討論することによって、政策決定に参加することが、国民主権・民主主義の本質的要素である。

そのことを可能にするためには、国や行政のもつ情報に自由に接すること＝「知る権利」が保障されなければならない。それを可能にするのが国の公文書管理法(「公文書等の管理に関する法律」)であり、地方自治体

は同法に基づき条例を制定しなければならない。

しかし、愛媛県は、専門家の意見を聞かず、名ばかりのパブリックコメントを募集し、市民の具体的な提言には一切回答せず、「公文書管理法に基づいたものを作る」と、県の職員だけで条例案を作った。最も大事な「知る権利」や「健全な民主主義の根幹を支える県民共有の『知的資源』」という文言を削除し、実際の運用基準はこれから作る、という条例案だった。

私たちは請願で、専門家や市民を交えた公聴会の開催や、ガイドラインを示した後で再度パブリックコメントを募集し、公文書管理法に基づく条例案を制定するよう求めたが、不採択となり、条例案は賛成多数で可決された。このような私たちの「知る権利」を守らない条例は、早々に改正させなければならない。

木下 啓子(えひめ教科書裁判を支える会)

原発のない暮らしを求めるえひめ県民署名へのご協力ありがとうございました！

2017年5月27日に「署名スタート大集会」を行い、取り組んできた「伊方原発をなくし安心して暮らせる愛媛県にしてください」と中村知事に届ける「えひめ県民署名」の活動では、大変お世話になりました。

県内19の市町と松山の中学校区を元にした地域で、署名活動に取り組む会をつくり、各地域で一戸一戸の家を訪ねて署名を集めることは大変でしたが、住民の声を直接聞くことができた貴重な機会になりました。

2018年3月31日までの署名活動を7月31日まで延長しましたが、雪が舞うなかや酷暑のなかの署名活動は一応終わりました。ただ、今回の洪水被害で南予各市町は大変なので、署名の集約は8月31日までに行っています。まだ手元に署名用紙をお持ちの方、「えひめ県民署名の会」事務局へ提出をお願いします。

安藤 哲次(えひめ県民署名の会・事務局長)

お知らせ



インフォメーション

- ❖ シングルマザー交流会松山 研修会
8月19日(日)13:30～@コムズ多目的室
お話: 野中玲子さん(同会松山代表)
- ❖ やさしい憲法おはなし会「檻の中のライオンinえひめ」
8月24日(金)19:00～
@松山市総合コミュニティセンター第1・2会議室
お話: 椋(はんどう)大樹弁護士
- ❖ 伊方原発をとめる会 「乾式貯蔵問題」講演会
9月2日(日)13:30～ @コムズ大会議室
お話: 長沢啓行さん(大阪府立大学名誉教授)
- ❖ 福島原発事故避難者訴訟 第15回口頭弁論
9月4日(火)14:00～ @松山地方裁判所
- ❖ 武井たか子の県議会報告会
9月9日(日)13:00～ @松山市民会館第4会議室
- ❖ 原子力行政を問い直す宗教者の会 全国集会
9月10日(月)～11日(火) @愛媛文教会館
お話: おしどりマコ・ケン、小松正幸さん、白石草さん
- ❖ 東北・四国 心行き交う盆踊り交流会
9月22日(土)17:00～ @石手寺境内
- ❖ 伊方原発再稼働反対現地全国集会
9月30日(日)13:30～ @道の駅伊方きらら館前
お話: 蓮池透さん他

会費とカンパのお願い

予想を超える被害をもたらした7月豪雨のあと、断水や線路・道路の分断、また雨の度に二次災害を畏れなければならない地域もあり、復旧は困難を極めているようです。そうした県内各地の事情を知るに従い、個人の力を超えた「市民のための政治」の必要を感じさせられています。

そんな時期に恐縮ですが、今回、会費とカンパの振込用紙を同封させていただきました。「生き生き政治ネット」は政治を考え、よりよい暮らしの実現のための活動に今後も努力してまいります。

どうぞご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。(生き生き政治ネット世話人一同)